

# 子育て家族支援研究会



\* 2019年 10月13日(日) 1時30分より

多くの方の参加を待っています!!

\* バンビオ (長岡京市中央生涯学習センター) 6階 和室  
JR 長岡京市西口より2分

一般社団法人 日本学童保育士協会  
子育て家族支援研究会  
大阪市中央区谷町7-22-202  
Tel.06-6762-8911

\* 助言者 伊部 恭子先生 (仏教大学)

\* 参加費 会 員 無料 非会員 1500円

～7月の公開研究会～ 感想より

養育が困難で、母との関係づくりもなんやかやと悩む毎日だが、「学童は癒し」と言ってくれた、その言葉の意味をかみしめたい。残念ながら学校に不信感を持っている。その橋渡しをしていくのも学童の役割になる。

孤立しがちな母親に寄り添っていきたい。できれば他の保護者との関係も繋いでいきたい。

生きづらさを抱えたSくんの思いや行動を理解し、適切な対応ができるよう専門的力を高めたい。

「テキスト『学童保育士・基礎』カリキュラム」より

第4章 社会福祉概論 学童保育指導員が社会福祉を学ぶ意義  
垣内国光氏 執筆

福祉は、治す、変える、発達させるなど、“上から目線”の視点には立ちません。そう生きることしかできなかった相手を思い、共感し寄り添うことに価値を見いだす仕事といっても言い過ぎではありません。

(略) 福祉がこうした立場を崩さないのは、受け止められ理解され愛されることで、支援を必要とする人が自らの課題を見だし、自己決定し、自立への途を探り当てていくことができる力を養うことができるからです。

\* 「テキスト『学童保育士・基礎』カリキュラム」2018年発行  
絶賛発売中です! 事務局にお問い合わせください。